

小貝川における河川整備の効果について (水害リスクの評価(試行))

令和元年11月8日

国土交通省 関東地方整備局

背景

- 平成27年8月に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に「水災害分野における気候変動適応策のあり方について～災害リスク情報と危機感を共有し、減災に取り組む社会へ～」が答申されました。
http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/mizukokudo03_sg_000122.html
- この答申では、想定最大規模の外力までの水害リスクを評価し、社会全体で水害リスク情報を共有し、ハード・ソフト両面から対策を進めていくことが示されています。

今回提示する資料について

- 水防法改正(平成27年7月施行)を踏まえ、様々な規模の外力による浸水想定を作成し、平成29年3月21日に公表したところですが、今回公表した利根川水系小貝川河川整備計画(原案)に定めた施設整備が完了した場合の水害リスクの変化を試行的に提示するものです。
- この試行を踏まえ、水害リスク情報のわかりやすい提示に努めて参ります。

■施設及び破堤条件

	現況河道	整備計画河道
施設条件	母子島遊水地	母子島遊水地、新たな遊水地
破堤条件	「スライドダウン堤防高－余裕高評価」又は「計画高水位評価」のいずれか低い方	

■外力設定条件

	整備計画規模	基本方針規模	想定最大規模降雨
降雨条件	昭和61年8月洪水波形(既往最大洪水)		
流量(m ³ /sec) (基準地点:黒子)	約1,100	約1,750	約3,100

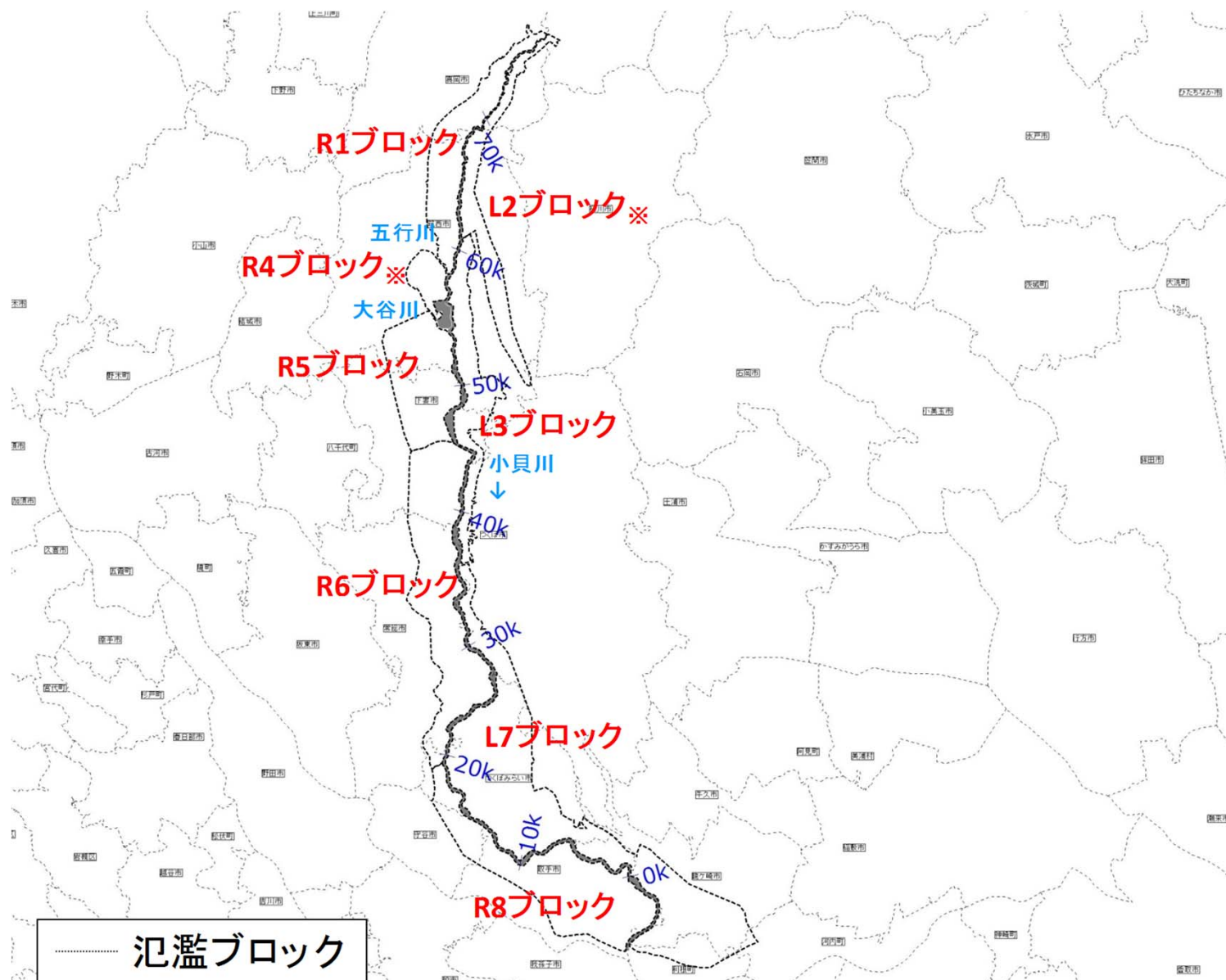
※上記の流量は洪水調節施設による洪水調節を行っていない場合の流量をお示ししています。
また、内水合流量を除いた流量をお示ししています。

河川整備計画(原案)の整備内容

■ 河川整備計画の目標を達成するために、堤防の整備、河道掘削等の整備を行う。



- 利根川水系小貝川の氾濫ブロックは左岸3ブロック、右岸5ブロックの計8ブロックで検討を実施。

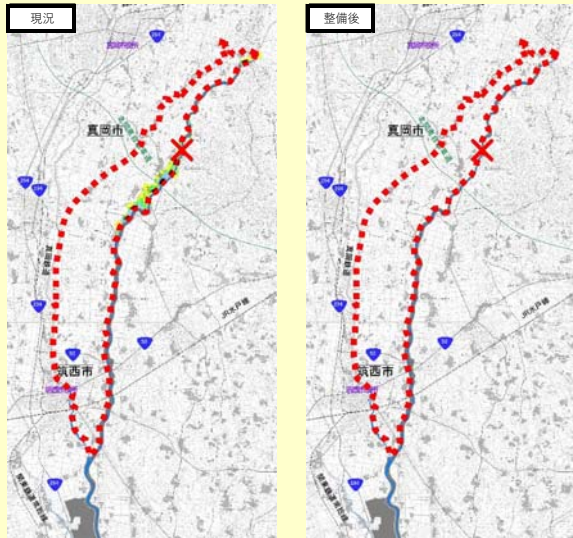


※L2,R4ブロックについては、地形状況等から氾濫域が大きく広がらないため、本検討の対象外とした。

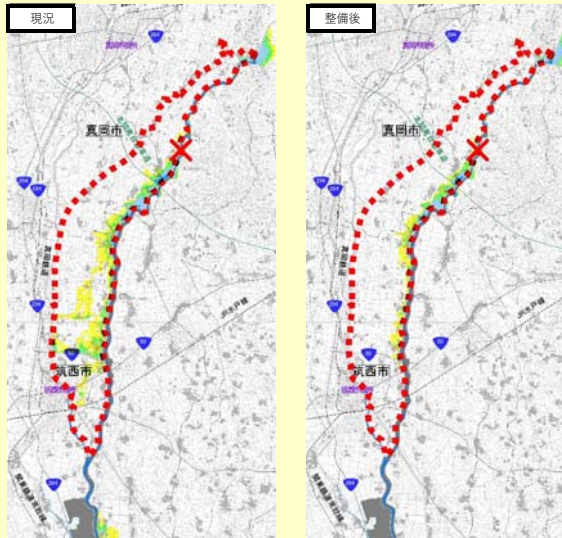
整備計画規模

基本方針規模

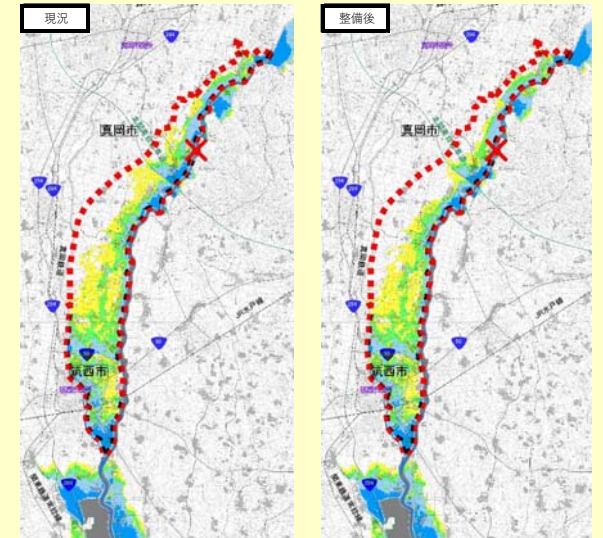
想定最大規模



〰 氾濫ブロック

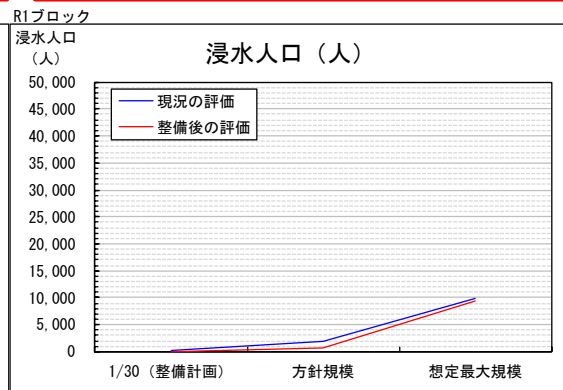
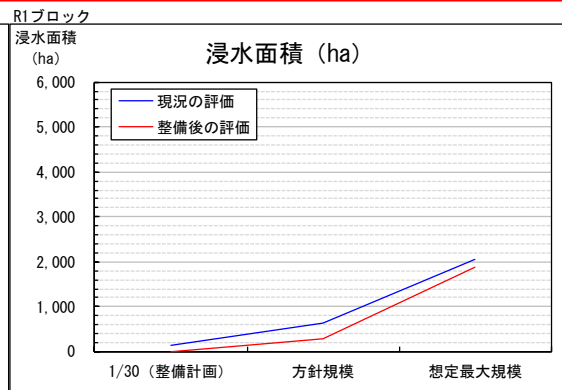
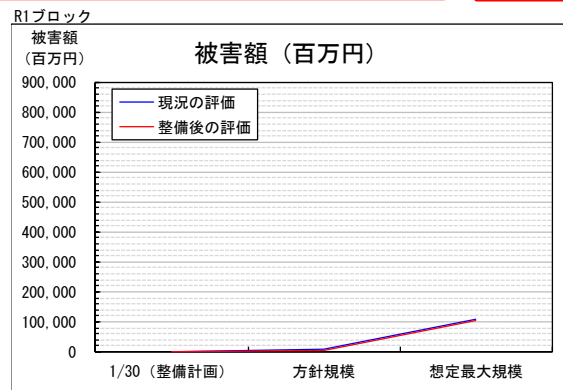


〰 氾濫ブロック

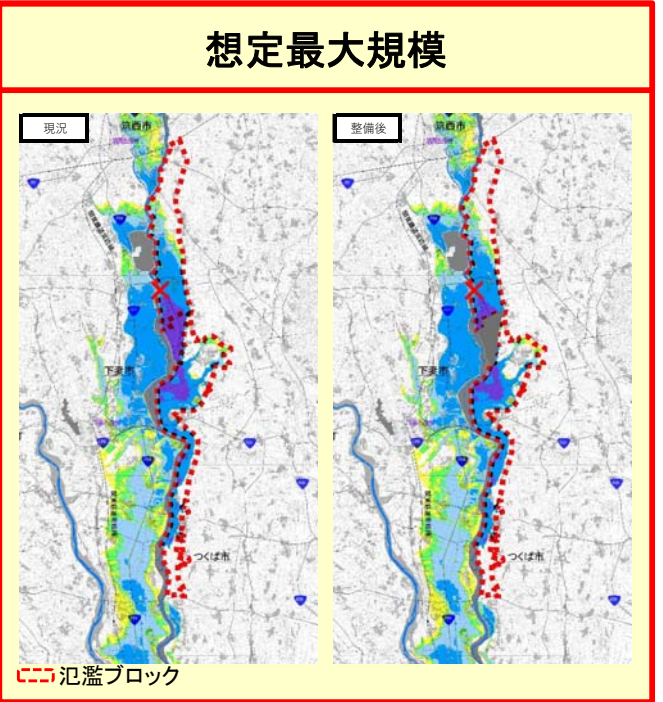
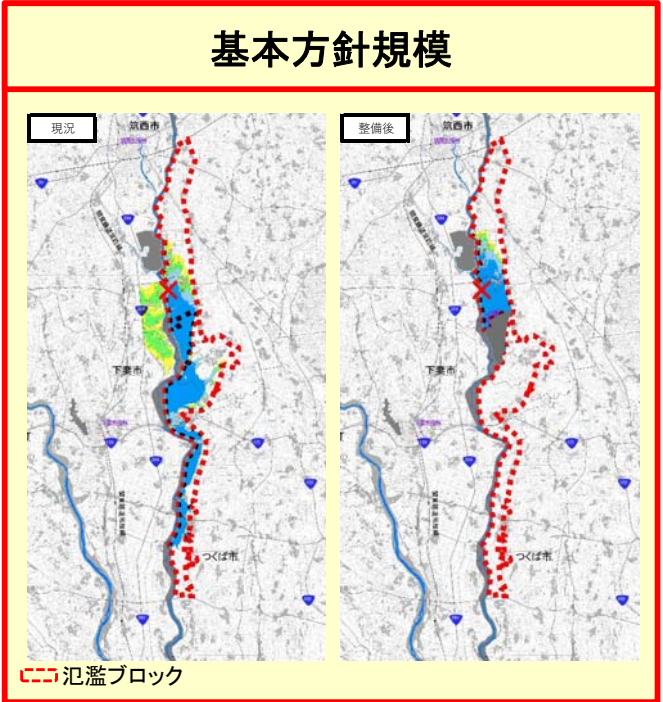
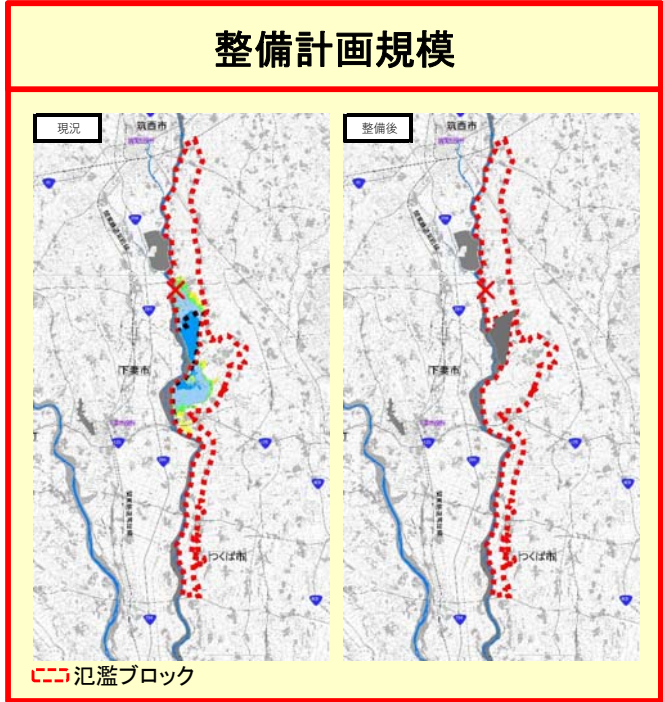


〰 氾濫ブロック

凡 例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
	0.5m未満の区域
	0.5~1.0m未満の区域
	1.0~2.0m未満の区域
	2.0~5.0m未満の区域
	5.0m以上



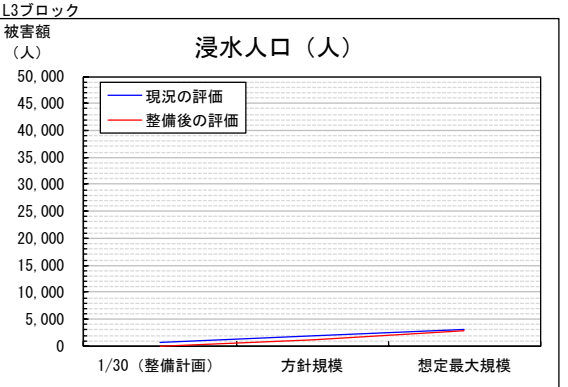
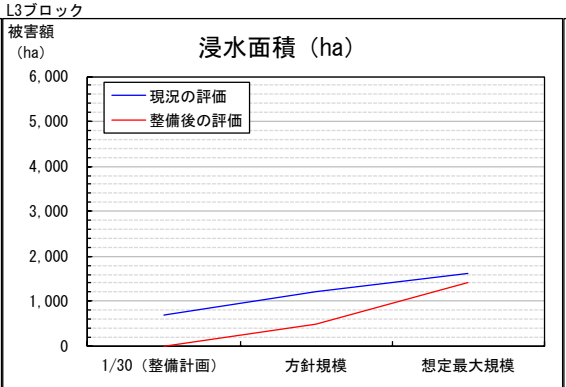
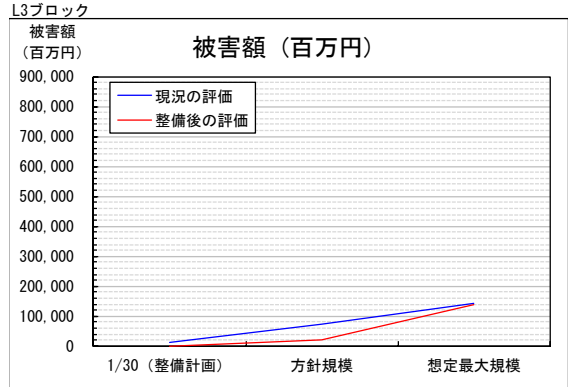
※本図は最大浸水深図をお示ししています。
 ※決壊の条件は、スライド堤防高一余裕高評価又はHWL高評価のいずれか低い方としています。
 ※この試算は昭和61年8月洪水の波形によるものであり、他の洪水波形によっては異なります。
 ※破堤点以外の区間では越流による氾濫とそれに伴う河川の流量低減を見込んでいます。
 ※浸水深3mは1階の居室が概ね水没する水深です。



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ダング別)

0.0m未満の区域
0.0~1.0m未満の区域
1.0~2.0m未満の区域
2.0~5.0m未満の区域
5.0m以上

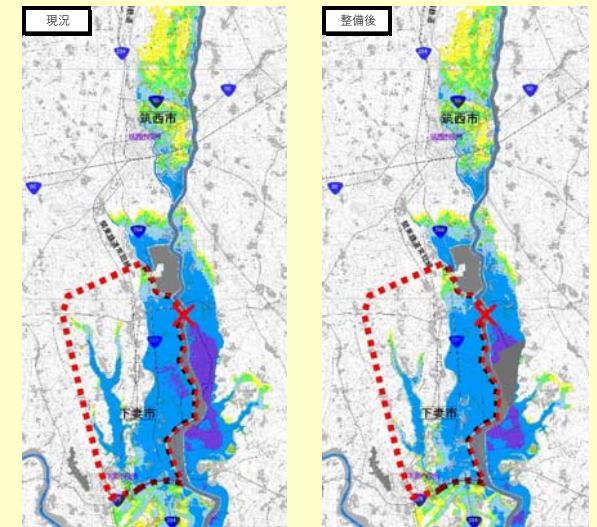
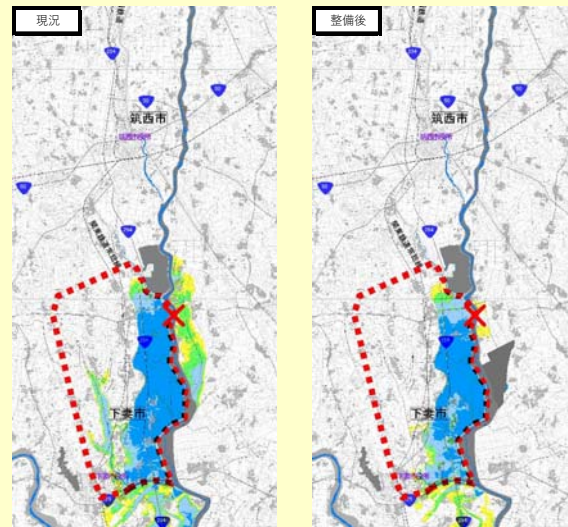
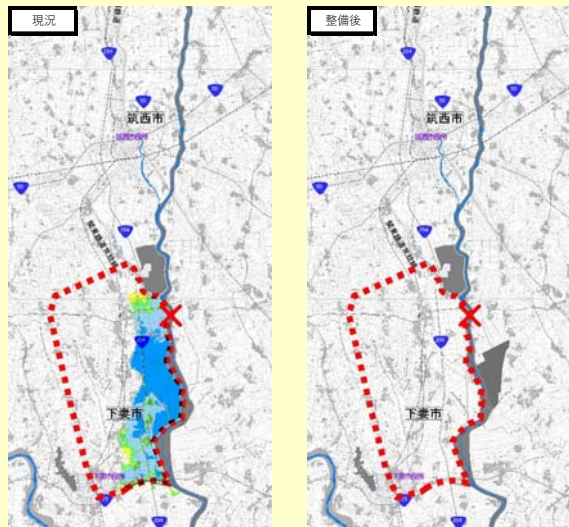


※本図は最大浸水深図をお示ししています。
 ※決壊の条件は、スライド堤防高一余裕高評価又はHWL高評価のいずれか低い方としています。
 ※この試算は昭和61年8月洪水の波形によるものであり、他の洪水波形によっては異なります。
 ※破堤点以外の区間では越流による氾濫とそれに伴う河川の流量低減を見込んでいます。
 ※浸水深3mは1階の居室が概ね水没する水深です。

整備計画規模

基本方針規模

想定最大規模

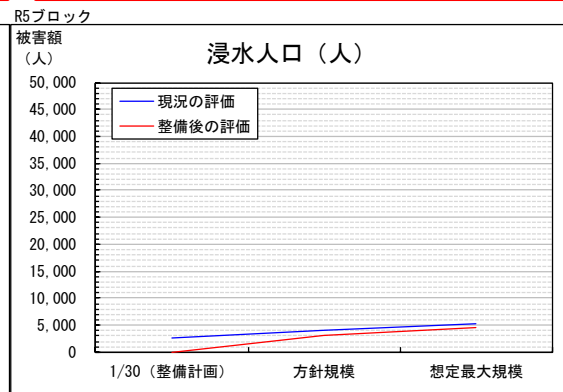
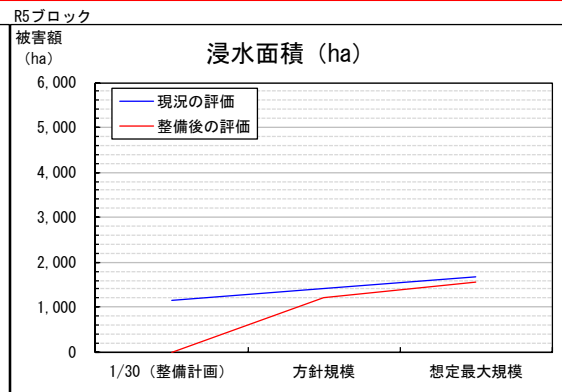
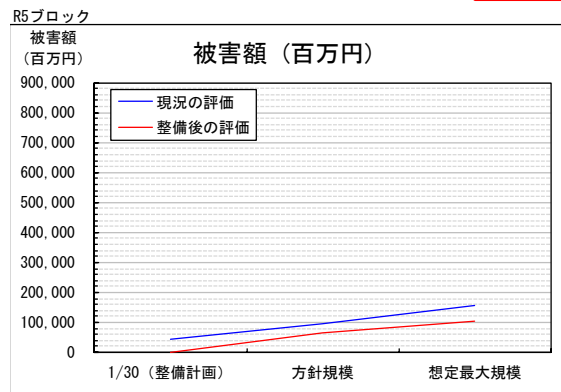


--- 氾濫ブロック

--- 氾濫ブロック

--- 氾濫ブロック

凡 例	
浸水した場合に想定される水深 (タンク別)	
0.5m未満の浸水	黄色
0.5~1.0m未満の浸水	緑色
1.0~2.0m未満の浸水	水色
2.0~3.0m未満の浸水	青色
3.0m以上	紫色



※本図は最大浸水深図をお示ししています。

※決壊の条件は、スライド堤防高一余裕高評価又はHWL高評価のいずれか低い方としています。

※この試算は昭和61年8月洪水の波形によるものであり、他の洪水波形によっては異なります。

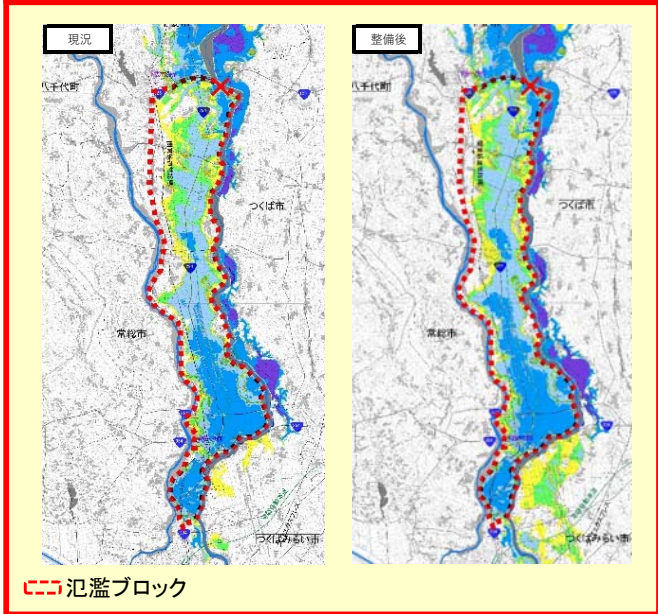
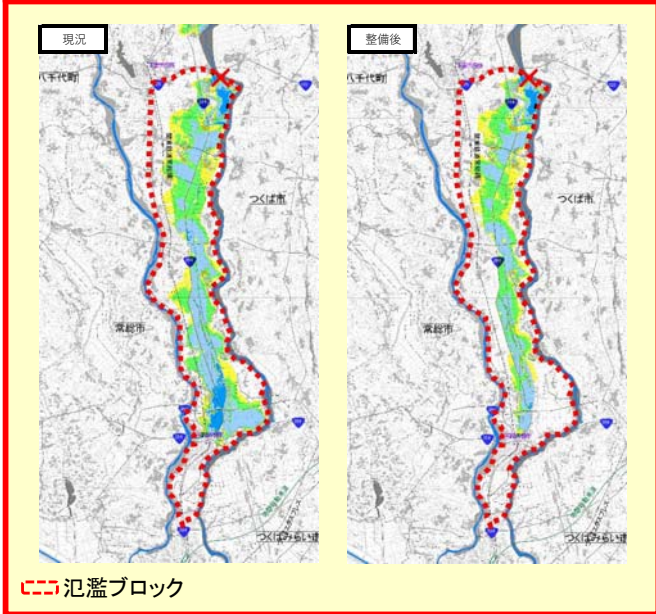
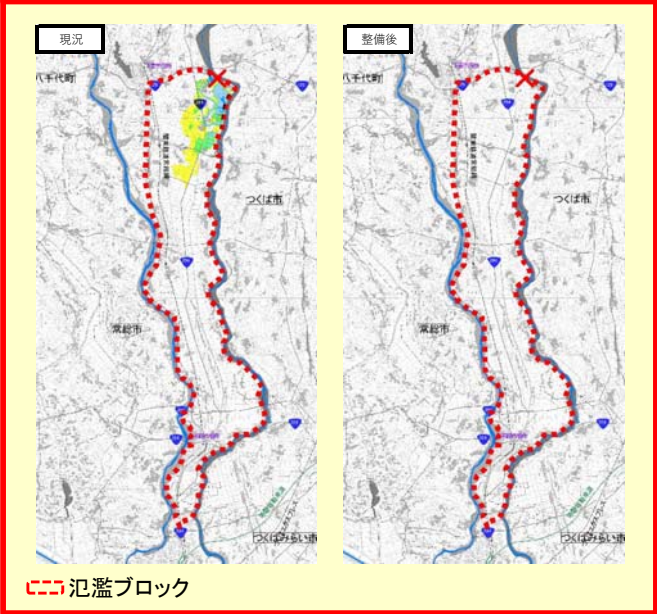
※破堤点以外の区間では越流による氾濫とそれに伴う河川の流量低減を見込んでいます。

※浸水深3mは1階の居室が概ね水没する水深です。

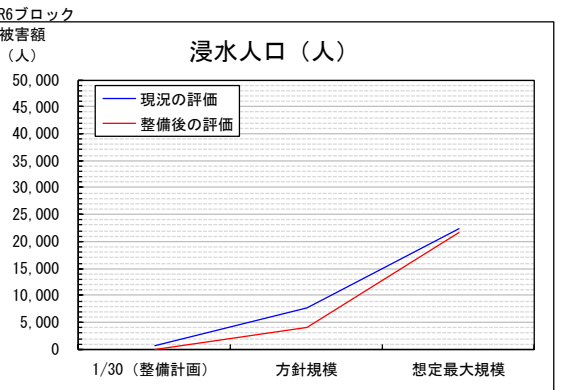
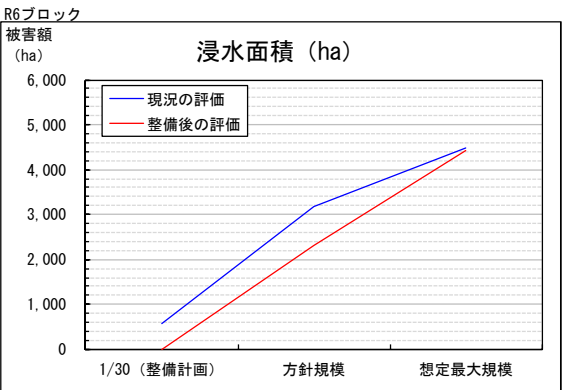
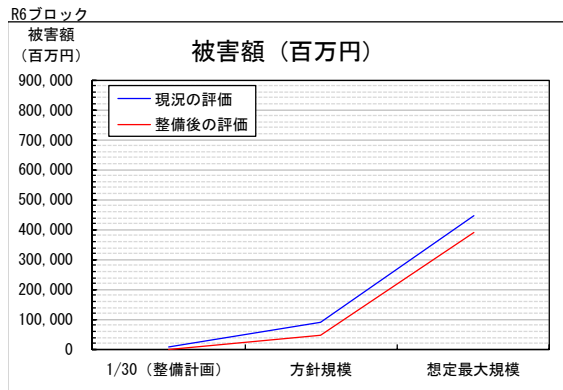
整備計画規模

基本方針規模

想定最大規模



凡例	浸水した場合に想定される水深 (ランク別)
黄色	0.5m未満の区域
緑	0.5~1.0m未満の区域
青	1.0~2.0m未満の区域
赤	2.0~3.0m未満の区域
紫	3.0m以上

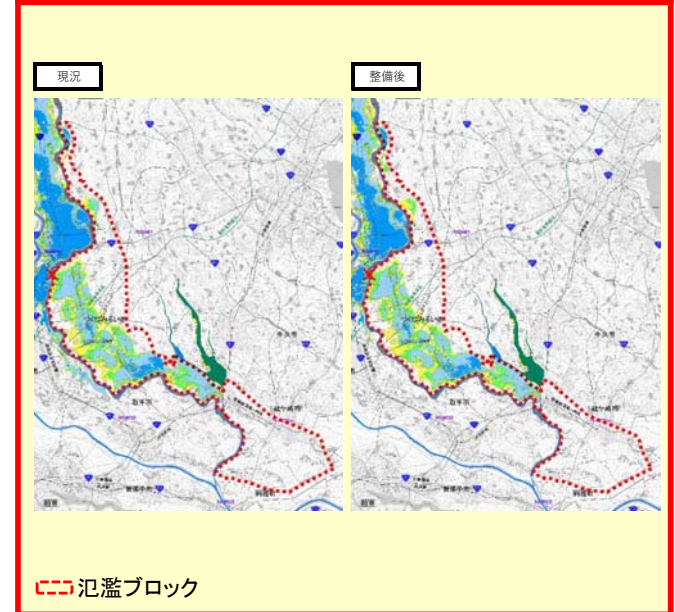
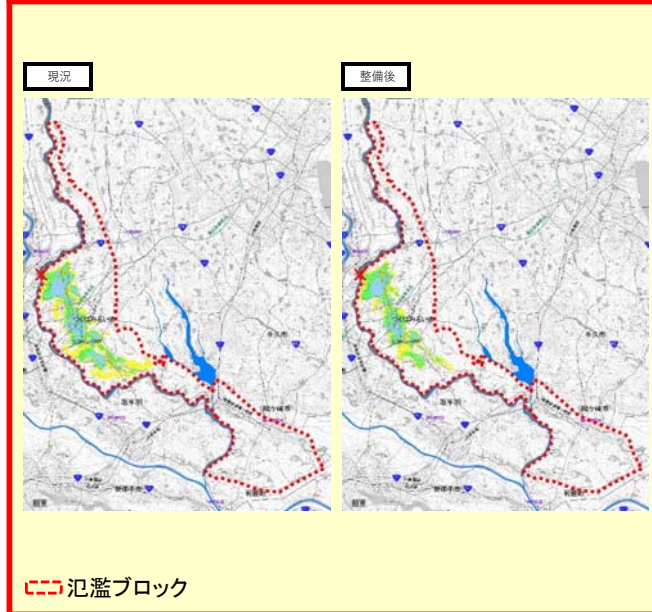
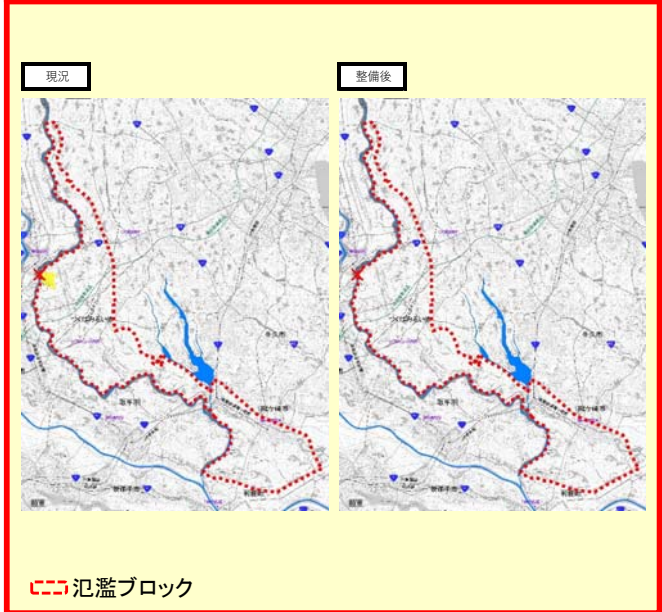


※本図は最大浸水深図をお示ししています。
 ※決壊の条件は、スライド堤防高一余裕高評価又はHWL高評価のいずれか低い方としています。
 ※この試算は昭和61年8月洪水の波形によるものであり、他の洪水波形によっては異なります。
 ※破堤点以外の区間では越流による氾濫とそれに伴う河川の流量低減を見込んでいます。
 ※浸水深3mは1階の居室が概ね水没する水深です。

整備計画規模

基本方針規模

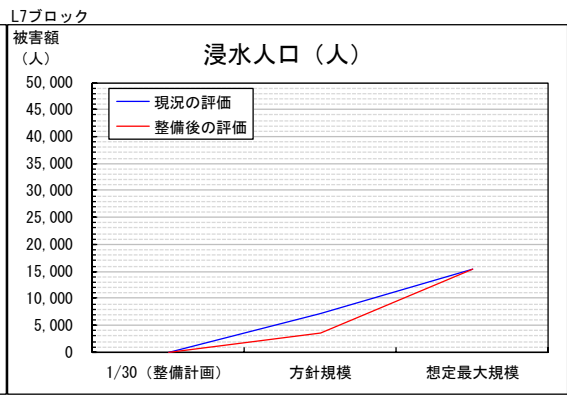
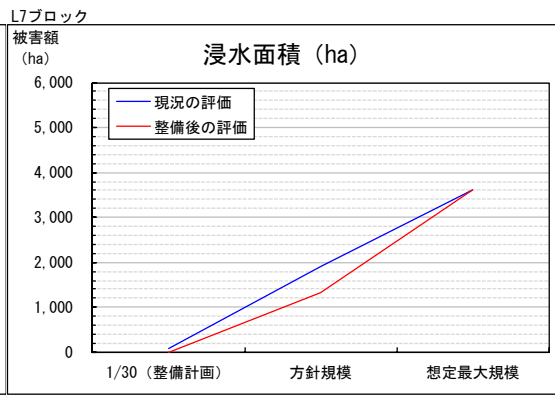
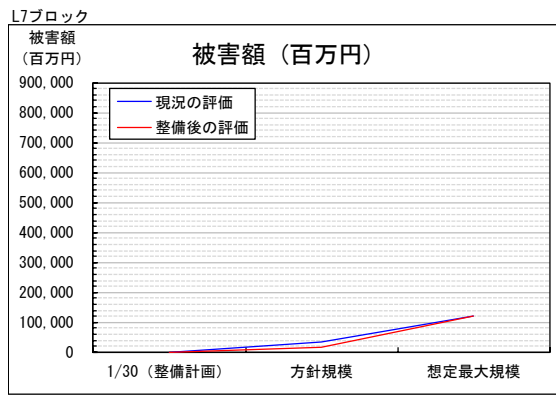
想定最大規模



凡 例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

0.5m未満の区域
0.5-1.0m未満の区域
1.0-2.0m未満の区域
2.0-3.0m未満の区域
3.0m以上

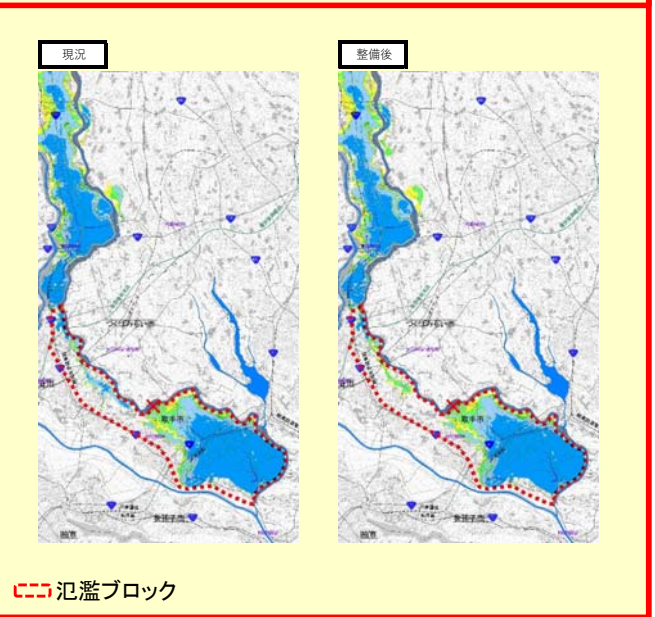
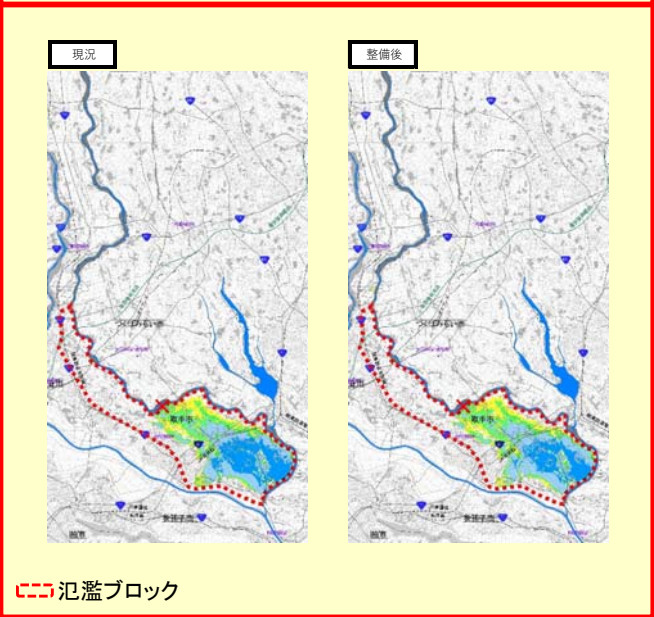
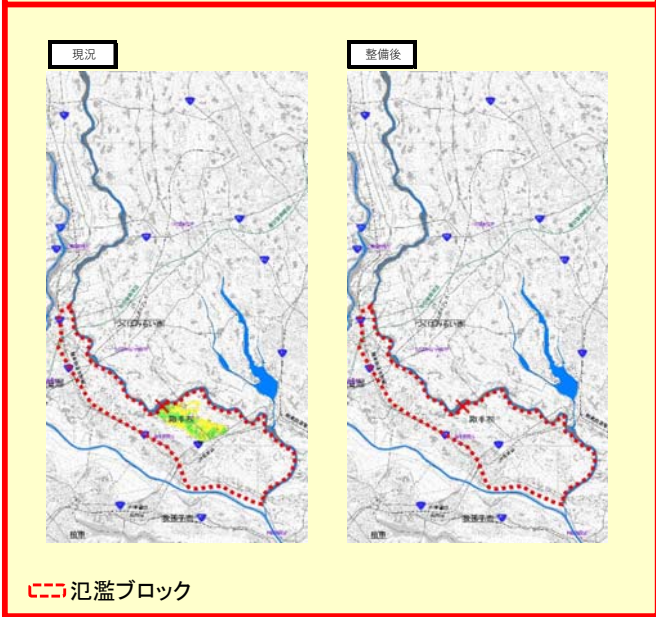


※本図は最大浸水深図をお示ししています。
 ※決壊の条件は、スライド堤防高一余裕高評価又はHWL高評価のいずれか低い方としています。
 ※この試算は昭和61年8月洪水の波形によるものであり、他の洪水波形によっては異なります。
 ※破堤点以外の区間では越流による氾濫とそれに伴う河川の流量低減を見込んでいます。
 ※浸水深3mは1階の居室が概ね水没する水深です。

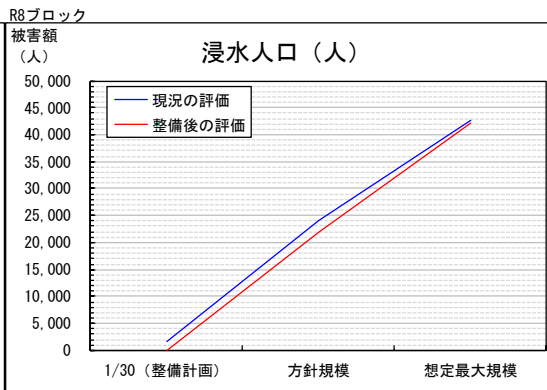
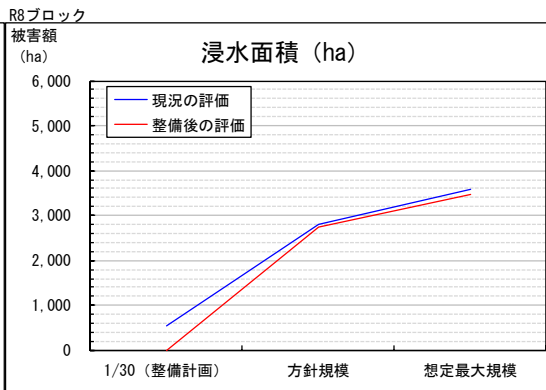
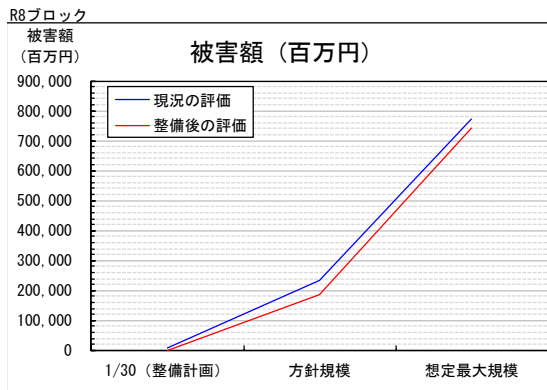
整備計画規模

基本方針規模

想定最大規模



凡 例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
0.0m未満の区域	0.0m未満
0.0-1.0m未満の区域	0.0-1.0m未満
1.0-2.0m未満の区域	1.0-2.0m未満
2.0-3.0m未満の区域	2.0-3.0m未満
3.0m以上	3.0m以上



※本図は最大浸水深図をお示ししています。
 ※決壊の条件は、スライド堤防高一余裕高評価又はHWL高評価のいずれか低い方としています。
 ※この試算は昭和61年8月洪水の波形によるものであり、他の洪水波形によっては異なります。
 ※破堤点以外の区間では越流による氾濫とそれに伴う河川の流量低減を見込んでいます。
 ※浸水深3mは1階の居室が概ね水没する水深です。